

2001年8月29日

各位

三菱電線工業株式会社
(コ - ド番号 5804)
昭和電線電纜株式会社
(コ - ド番号 5805)

電力用電線事業に関する事業提携について

三菱電線工業株式会社(社長 阿島 俊一、以下三菱電線)と昭和電線電纜株式会社(社長 権正 信行、以下昭和電線)は、両社の伝統的な中核事業である、国内電力会社向け、並びに輸出を主とした電力用電線事業に関し、単独での事業改善には限界がある事から、共同事業会社を設立し、販売、研究開発、設計、製造などの諸機能を統合することで合意に達しました。

1. 事業提携の趣旨

当該事業を取り巻く環境は、国内市場では景気の長期低迷による電力需要の伸び悩みと規制緩和に伴う競争を意識した電力会社の設備投資抑制等により需要は大幅に減少しております。また、海外市場においても、国内外メーカーとの競争が一段と激化しており、全体として設備過剰の状況にある事が明らかであり、長期的に見ても回復は非常に困難な状況にあります。

このような状況を背景に、三菱電線と昭和電線はそれぞれ当該事業継続の為に構造改革のあらゆる施策を講じてまいりましたが、このたび、両社の当該事業を共同事業会社に移管・集約し、徹底した事業基盤の再編を行うことにより、体制の整備と競争力の強化を図り、厳しい事業環境に対応することを決意いたしました。

新たな共同事業会社は、国内電力会社向け、並びに輸出を主とした販売、研究開発、設計、製造までを行うとともに、製品範囲ではケーブルから部品、工事を含む、電力用電線事業に関する広範な一貫事業会社といたしたいと考えております。

今後とも、共同事業会社として技術開発や生産性向上に努め、高品質な製品を安定的に供給する体制を整え、お得意様の広範な要求に応えてまいります。

2. 事業提携の内容

(1) 共同事業会社の設立

三菱電線と昭和電線は、環境整備および必要手続が完了し次第、早急に上記事業に係る国内電力会社向け、並びに輸出を主とした販売、研究開発、設計、製造に関する共同事業会社を設立いたします。

共同事業会社での営業開始の時期は、遅くとも1年以内（来年7月を目途）を予定しております。

〔2〕対象製品と範囲

- 電力ケーブル（OFケーブル・中高圧CVケーブル）
- 架空送電線（ACSR、OPGW等）
- 架空配電線（OC、OW等屋外用電線）
- 部品（電力ケーブル及び架空送配電線の接続部材等）
- 工事（電力ケーブルの接続工事等）

〔3〕拠点の集約

ケーブル製造拠点

現状、電力ケーブル、送配電線、部品につきましては両社で7事業所で生産しておりますが、早期の段階で次のように一品種一事業所に集約を図る予定にしております。

	集約拠点
電力ケーブル	愛知
架空送電線	仙台
架空配電線	熊谷
部品製造拠点	検討中

工事につきましては、現在、各々の子会社で運営しておりますが、将来、当該部門の統合も視野に入れて検討しております。

製造拠点の他、逐次営業拠点、研究開発拠点の集約化を図り、共同化の実をあげて行きます。

上記集約により、コスト競争力を強化し、ユーザーへの安定供給とサービス向上を図るとともに、その結果として余剰となる人員等の経営資源について、両社はグループを含め情報通信等の成長分野にシフトし有効活用いたします。

3. 共同事業会社の概要

- (1) 社名：未定
- (2) 営業開始：1年以内（来年7月目途）
- (3) 資本金：4億8千万円（予定）
- (4) 出資比率：50：50
- (5) 社長：未定
- (6) 役員：取締役は6名以内、両社同数

- (7) 事業規模 : 売上高 約 3 5 0 億円 (拠点集約後)
人 員 約 4 5 0 名 (拠点集約後。設立時両社より出向)
- (8) 本 社 : 東京都

本件に対するお問合せ先

三菱電線工業株式会社 総務部総務・広報グループ TEL : 03-3216-1551

昭和電線電纜株式会社 総務部法務・広報グループ TEL : 044-344-1111

以 上